

2. 研究業務の内容

企画開発推進室

1. 「生産者と向き合う総合水試」情報収集発信事業

桑原浩一・水田浩二

水温情報、漁獲情報、魚病情報等、水産研究にとって有用な各種情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」をモットーに、蓄積された情報や試験研究成果等の発信に努めた。

また、専門的な研究情報の提供と漁業現場等のニーズの把握を目的に、県内各地で研修会（出前水試）を開催した。

I. 試験研究情報の収集

1. 魚病情報データベース

県内各地の魚病発生情報を収集し、データベースに212件を新たに登録した。

魚病データベース登録件数：累計5,619件

2. 海況データベース

県内各海域の海況情報を収集し、データベースに14,396件を新たに登録した。

海況データベース登録件数：累計449,092件

II. 試験研究情報の発信

1. インターネットによる情報発信

長崎県庁ホームページに、以下の情報を提供した。主な内容は以下の通り。

- 総合水産試験場の施設の紹介
- 漁海況情報
- 水温情報
- 最新の試験研究話題
- トピックス 等

2. FAX情報サービス

FAXによる情報サービスを行い、以下の情報の発信を行った。

- 漁海況情報
- 赤潮情報

情報発信件数：計6,734件

3. 情報誌の発行

「令和2年度の主な成果」を発行（令和3年3月）し、漁協等関係機関へ配付した。

III. 現地での研修会(出前水試)の開催

漁業者等への研究成果の提供と、試験研究への現場ニーズの反映を目的に現地での研修会(出前水試)を開催している。令和2年度は、より専門的に細かく現場のニーズを把握するため、地区や部会等の要望に応じて、以下のとおり県内5地区で6回開催した。

○大村市杭出津

令和2年7月17日、出席者：17名

○新上五島町青方郷

令和2年12月4日、出席者：24名

○長崎市戸石町

令和3年1月21日、出席者：13名

○長崎市戸石町

令和3年1月27日、出席者：9名

○松浦市御厨町

令和3年2月24日、出席者：16名

○壱岐市石田町

令和3年3月2日、出席者：18名

各会場とも水試の試験研究に対する多くの意見、要望等が寄せられ、非常に有意義な催しとなった。参加者合計は97名。



「出前水試」の様子

(令和2年12月4日 新上五島町にて)

IV. その他

1. ながさき水産科学フェアの開催

例年10月に、新長崎漁港地区の国際海洋総合研究ゾーンにおいて、同地区に設置されている国立研究

開発法人 水産研究・教育機構水産技術研究所, 国立大学法人 長崎大学海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センターと共催で一般に公開する水産科学フェアを開催している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため, 開催を中止した。

2. 広報活動

試験研究で得られた成果を, 漁業者をはじめ県民に広く伝達し, その普及を図ることを目的に, 記者室投げ込み, 取材対応等の広報活動を行った。

令和2年度の広報件数は18件。

(担当: 水田)